令和8年度

MEGURO こどモニター

第1回　アンケート結果

～中高生版～

アンケートのテーマ

子どもの権利

全ての子どもが持っている、「子どもの権利」を調べました。

アンケートの内容

1. 子どもの権利のこと ……P.1
2. 子ども条例のこと ……P.7
3. 子どもの権利の相談のこと …… P.13
4. まとめ ……P.21

期間

令和8年6月26日(金)から7月10日(金)まで

実施方法

ウェブアンケート

回答状況

回答人数　74人
中学生…こどモニター50人中46人
高校生…こどモニター33人中28人

※この報告書では、MEGUROこどモニターのうち中高生の意見をまとめています。
※意見は、内容をわかりやすくまとめています。

1.子どもの権利のこと

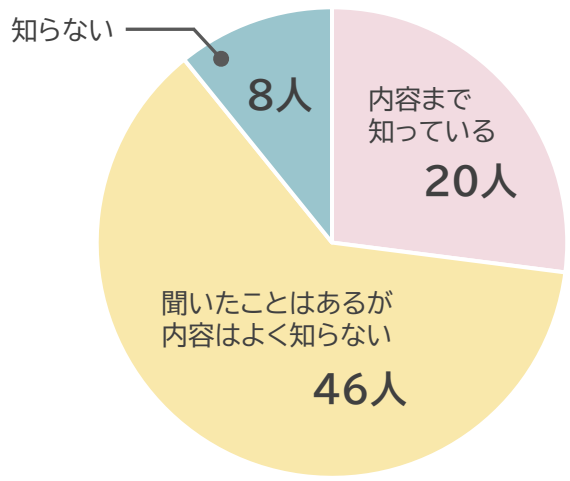
合計5問



問１

すべての子どもには、守られて育つことや自分の意見を自由に発言するなど、ありのままの自分で生きるために大切な「子どもの権利」があります。
この「子どもの権利」について、知っていますか。

（回答人数　74人）

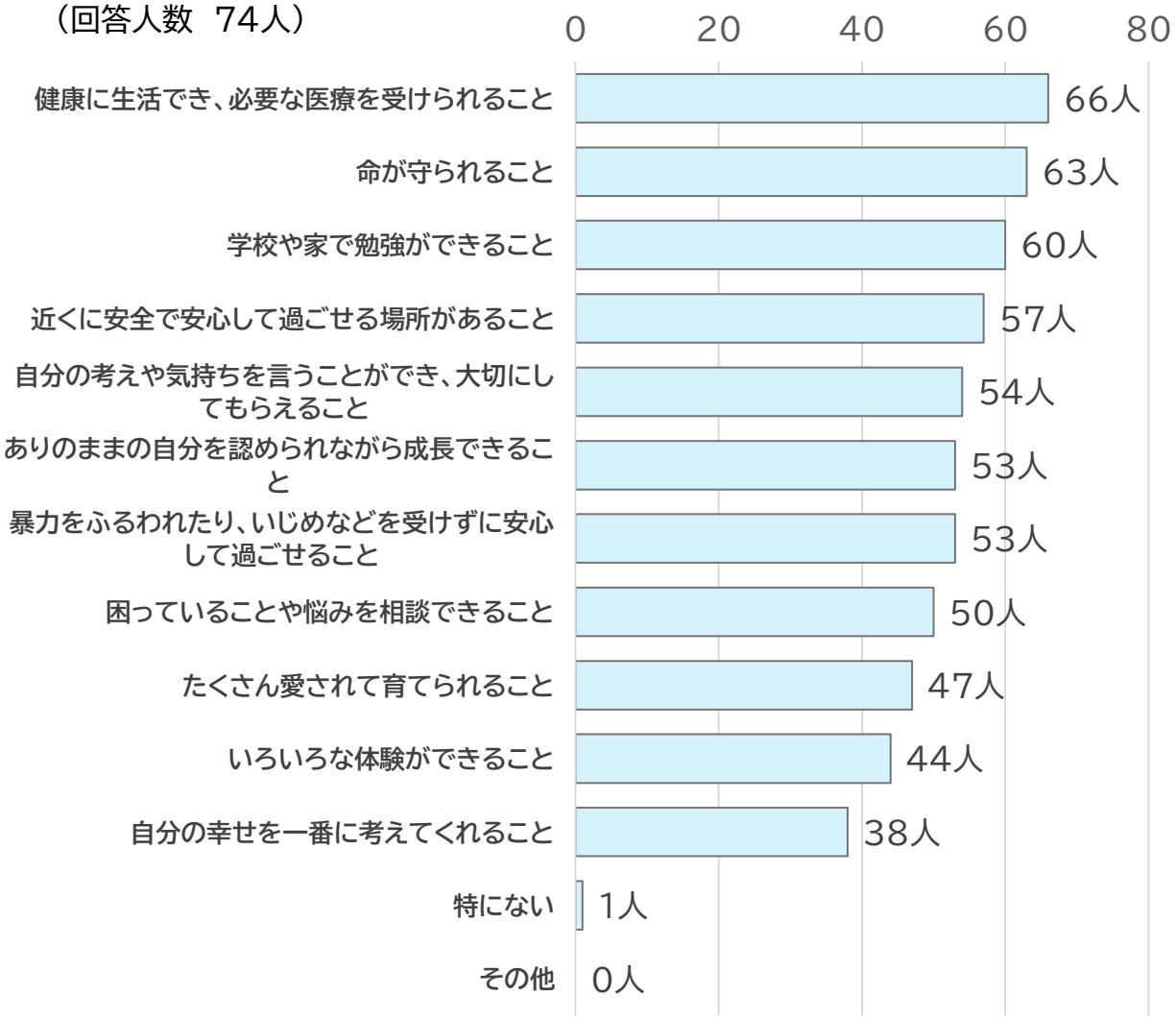


一番多かったのは「聞いたことはあるが内容はよく知らない」の46人でした。
「内容まで知っている」は20人、「知らない」は8人でした。

問２

あなたが「子どもの権利」だと思うものはなんですか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）

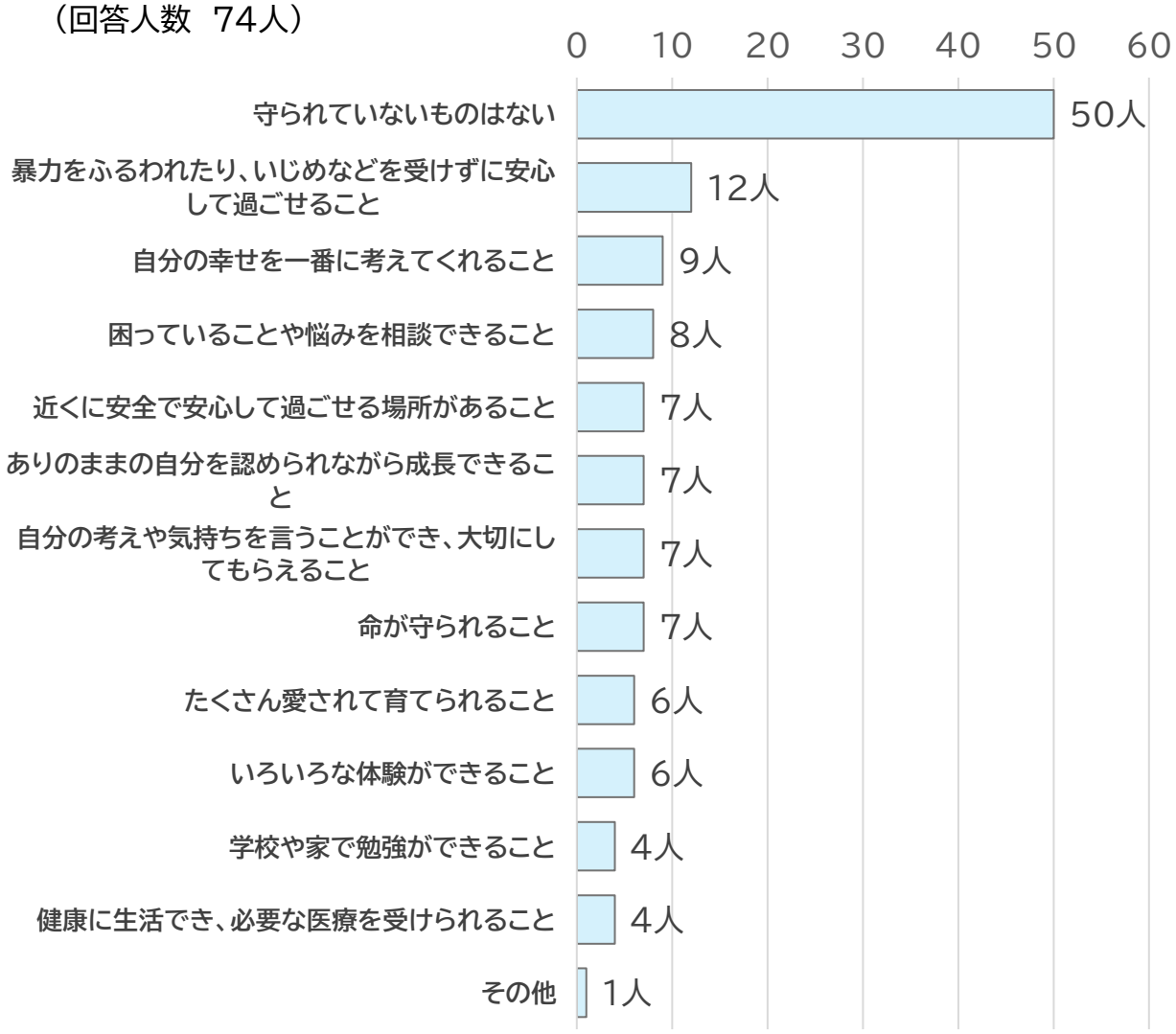


一番多かったのは「健康に生活でき、必要な医療を受けられること」で66人でした。
二番目に多かったのは「命が守られること」で63人でした。

問３

あなたのことで、守られていないと思う「子どもの権利」はなんですか。（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）

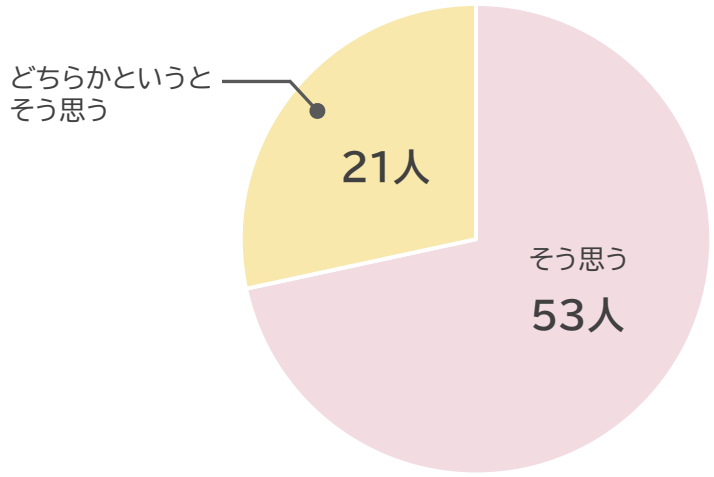


「守られていないものはない」が一番多く50人で、全体の約67%になっています。

問４

あなたは、家族や先生など、
周りの大人に大切にされていると思いますか。

（回答人数　74人）



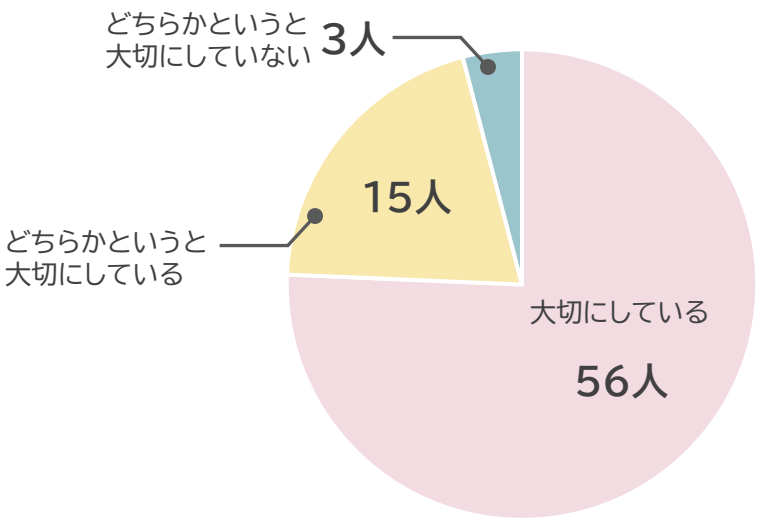
どちらかというとそう思わない　0人　　そう思わない　0人

一番多かったのは「そう思う」で53人でした。「どちらかというとそう思う」は21人でした。

問５

あなたは、他の人の考えや気持ちを大切にしていますか。

（回答人数　74人）



大切にしていない　0人

一番多かったのは「大切にしている」で56人でした。
「どちらかというと大切にしている」は15人、
「どちらかというと大切にしていない」は3人でした。

2.子ども条例のこと

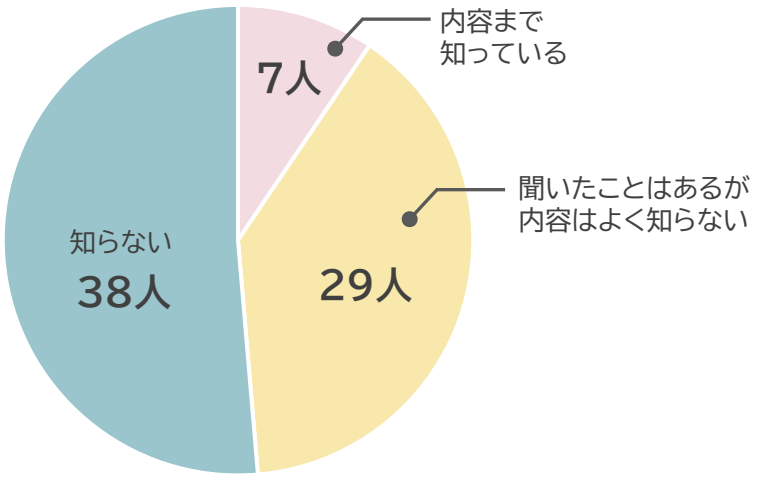
合計4～5問



問６

目黒区には子ども条例があります。知っていますか。

（回答人数　74人）



一番多かったのは「知らない」の38人でした。
「聞いたことはあるが内容はよく知らない」は29人、「内容まで知っている」は7人でした。

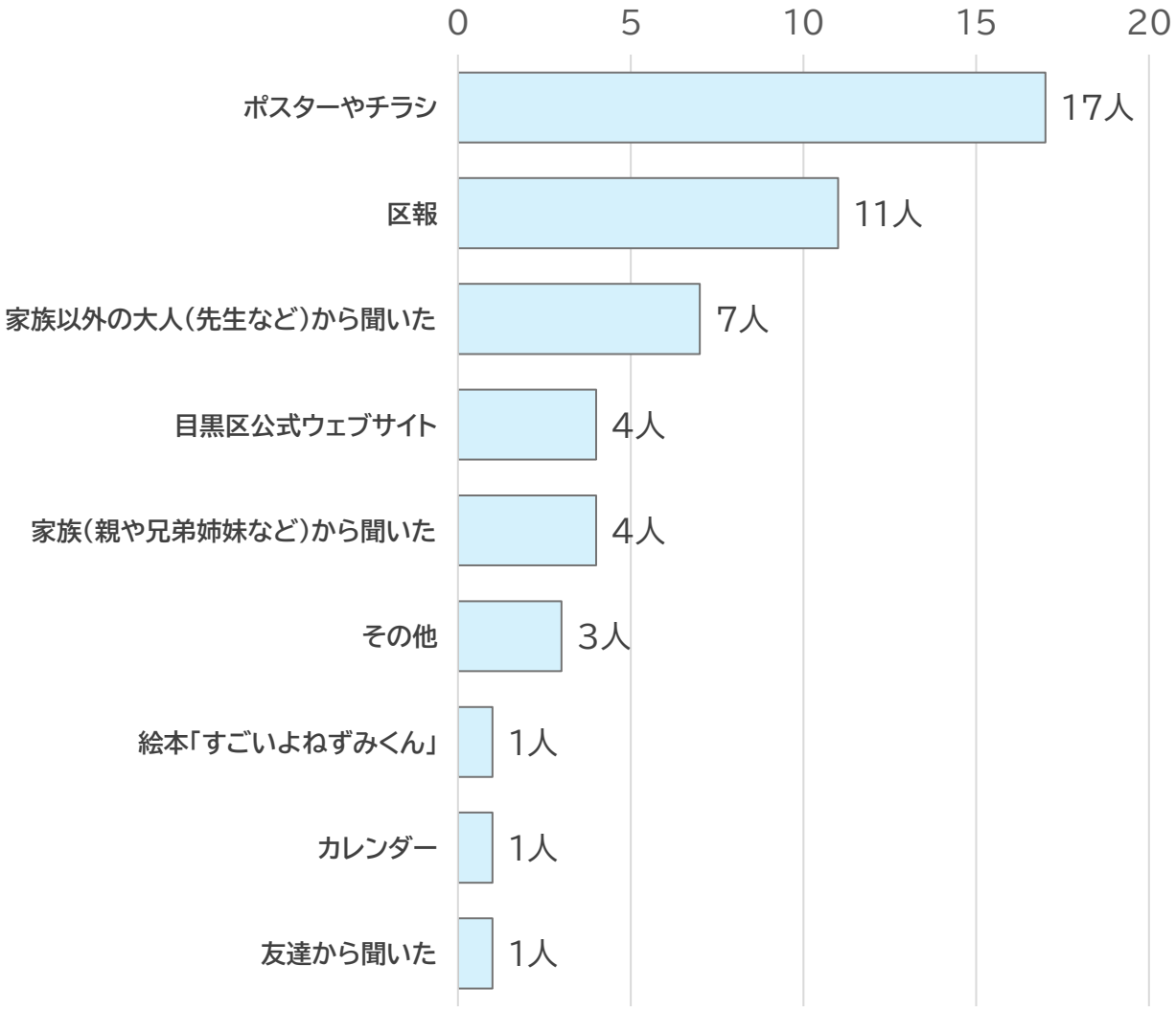
目黒区子ども条例ってなに？？

子どもが自らの意思でいきいきと育つために、区が定めた決まりのこと。
子どもは一人ひとりかけがえのない存在です。
大人は、子どもと誠実に向き合い、子どもの思いを受け止めながら成長を支え、
子どもが自立して責任ある社会の一員となる ように導いていく役割を担っています。
区では、「子育てを支えるまち」、「子どもが参加できるまち」、
「子どもが安心できるまち」、「子ども一人ひとりのことを大切にするまち」の
4つの目標に向けて、様々な取組を展開しています。
＞＞＞目黒区子ども条例についてはこちら

問７

【問6.内容まで知っている/聞いたことはあるが内容はよく知らないの場合】
子ども条例をどのような方法で知りましたか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）

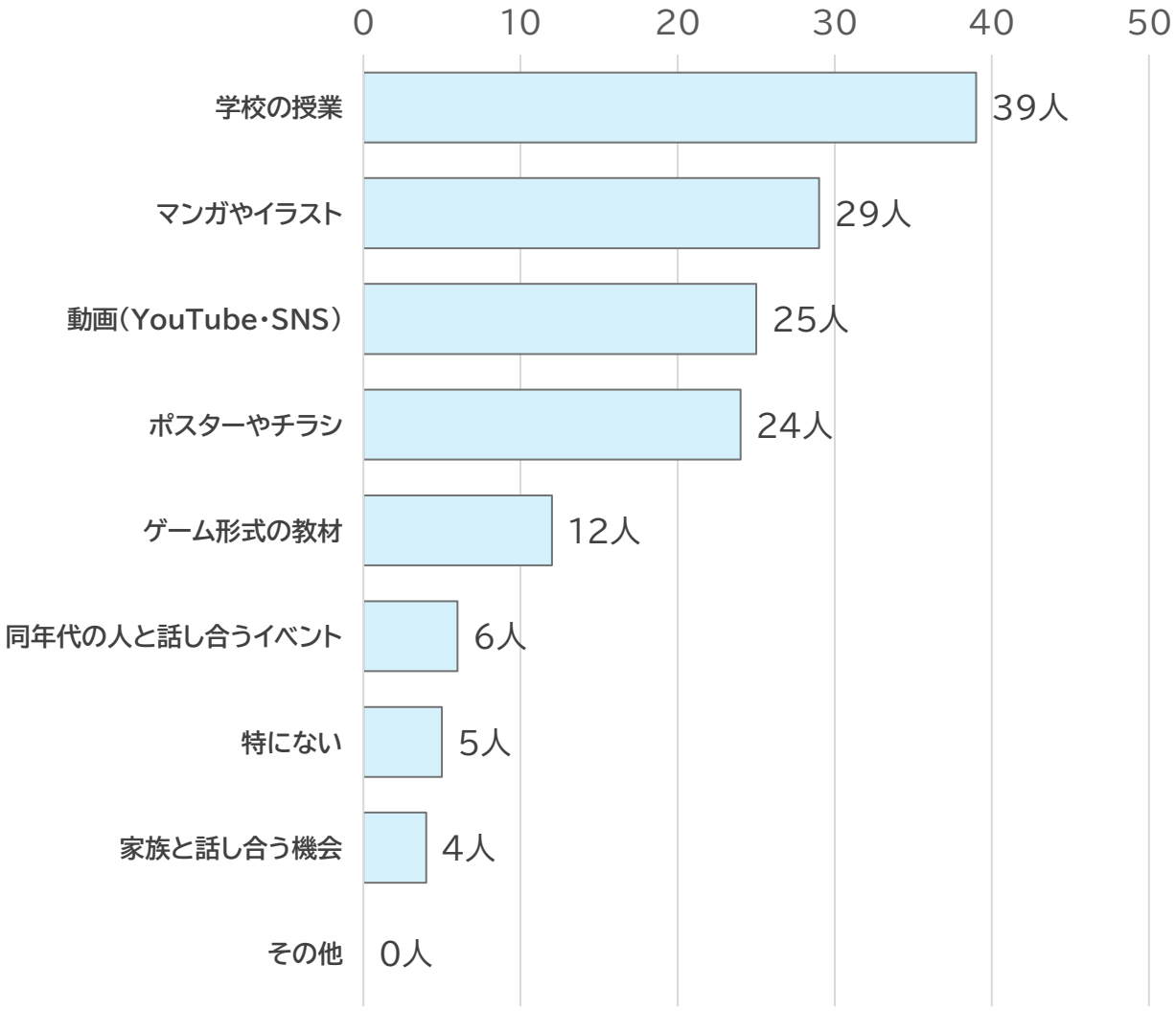


一番多かったのは「ポスターやチラシ」で17人でした。
二番目に多かったのは「区報」で11人でした。
その他の意見の中には「塾」、「学校」などがありました。

問８

子ども条例について、どんな方法なら知りたいと思いますか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）

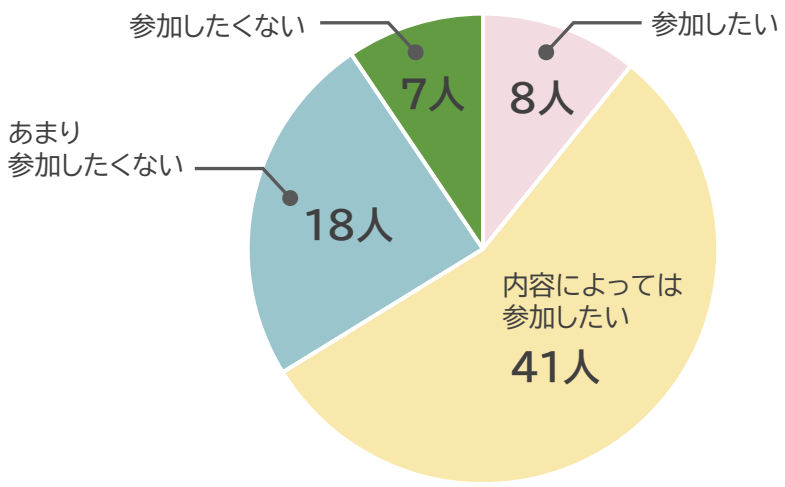


一番多かったのは「学校の授業」で39人でした。
二番目に多かったのは「マンガやイラスト」で29人、
三番目に多かったのは「動画（YouTube・SNS）」で25人でした。

問９

子ども条例を広める活動に参加してみたいですか。

（回答人数　74人）



「参加したい」と「内容によっては参加したい」で合計49人で、
約66%となっています。

問 10

子ども条例を広める活動に参加したい・したくない理由を自由に書いてください。

（回答人数　55人）

【参加したい理由】

・ポスターコンクールや標語コンテスト等であれば
　ハードルも下がるし参加してみたい
・たくさんの人に広めることで、みんなが理解をして、より良くなると思うから
・どんな条例か知りたいから
・みんなに知ってもらうべきだから
・内容まではよく知らない人が多いと思うので、
　大切さが伝わるような活動なら参加したい
・確実に僕たち子どものための活動であると思うから、
　内容によっては参加したい
・家から近くてあまり遠くないところでやるならやりたい

【参加したくない理由】

・面倒くさそうだから
・何をするかまだわからないから
・学業、部活に忙しく、時間的に余裕がない
・広めたとしても対策は進まない気がするから
・子どもの権利は十分に守られていると思うから

3.子どもの権利の相談のこと

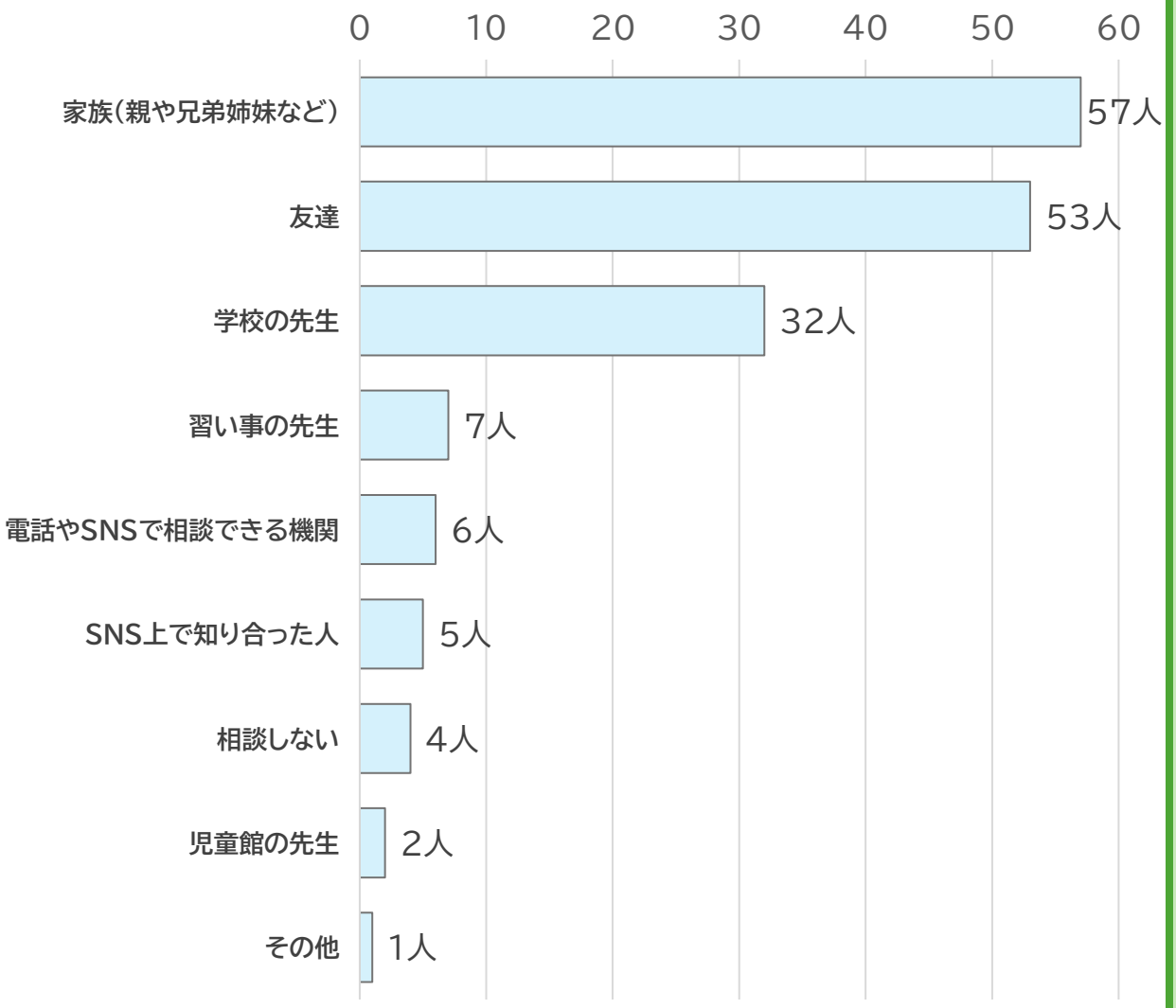
合計5～7問



問 11

あなたが困ったり悩んだりしたとき、
どのような人・場所に相談しますか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）

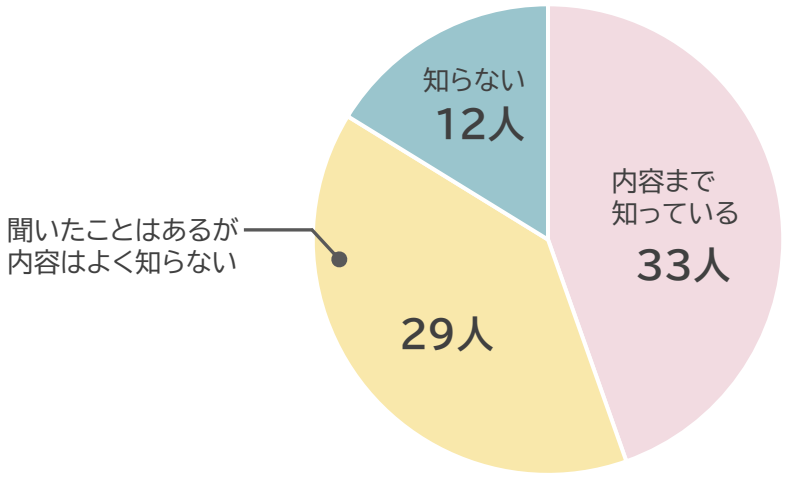


一番多かったのは「家族（親や兄弟姉妹など）」で57人でした。
二番目に多かったのは「友達」で57人、
三番目に多かったのは「学校の先生」で32人でした。
その他の意見には「AI」がありました。

問 12

目黒区には、子どもが困ったときに電話で相談できる場所「めぐろはあとねっと」があります。知っていますか。

（回答人数　74人）



一番多かったのは「内容まで知っている」で33人でした。
「聞いたことはあるが内容はよく知らない」は29人、
「知らない」は12人でした。

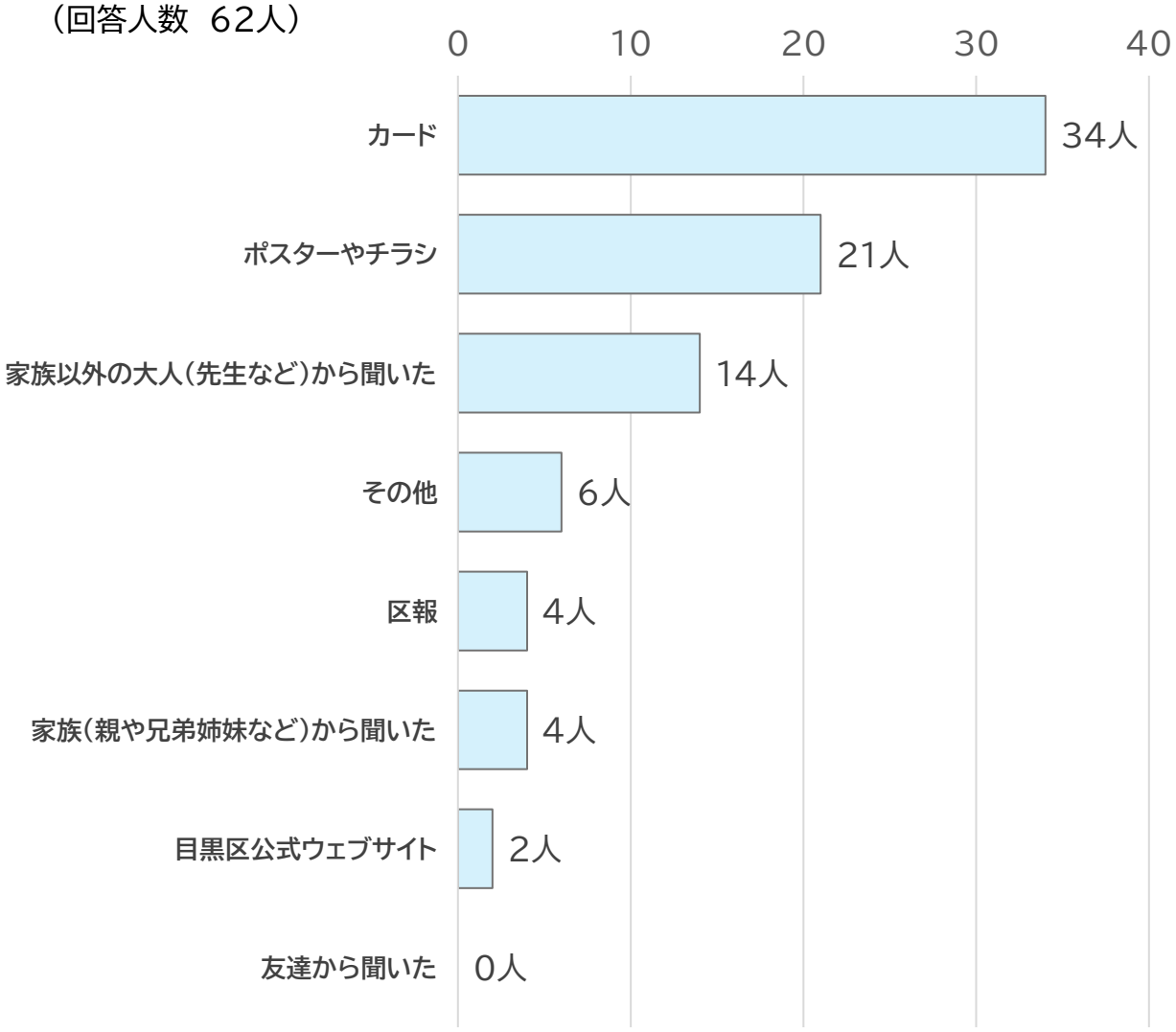
「めぐろ　はあと　ねっと」とは？

家でも、学校でもないところが、あなたの困っていることや、
苦しく思っていることをじっくり聴いて、どうしたらいいかを
一緒に考えるところです。
あなたの悩みは誰にも話さないから、安心して相談してください。

問 13

【問12.内容まで知っている/聞いたことはあるが内容はよく知らないの場合】
「めぐろはあとねっと」をどのような方法で知りましたか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　62人）

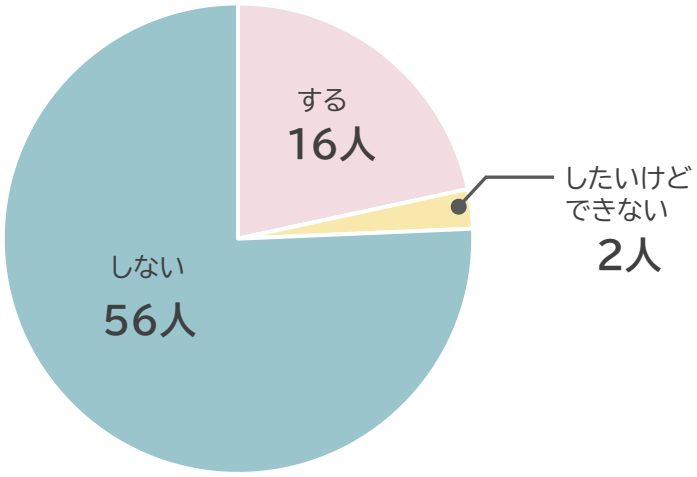


一番多かったのは「カード」で34人でした。
二番目に多かったのは「ポスターやチラシ」で21人、
三番目に多かったのは「家族以外の大人（先生など）から聞いた」で14人でした。
その他の意見には「学校」、「SNS」がありました。

問 14

あなたは、困ったり悩んだりしたとき、
「めぐろはあとねっと」に相談しますか。

（回答人数　74人）

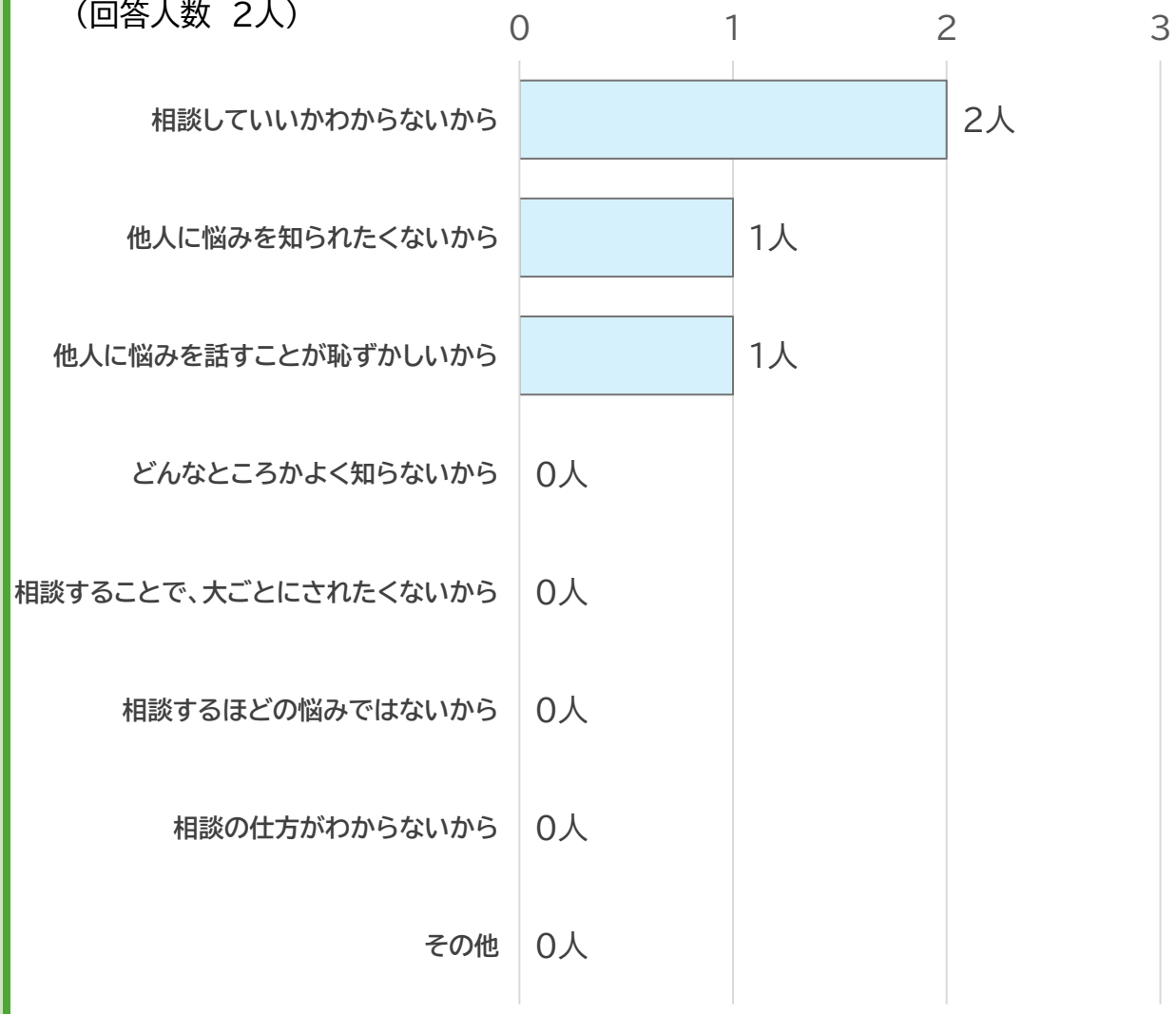


「しない」が一番多く56人で、全体の約75%となっています。

問 15

【問14.したいけどできないの場合】
相談できない理由はなんですか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　2人）

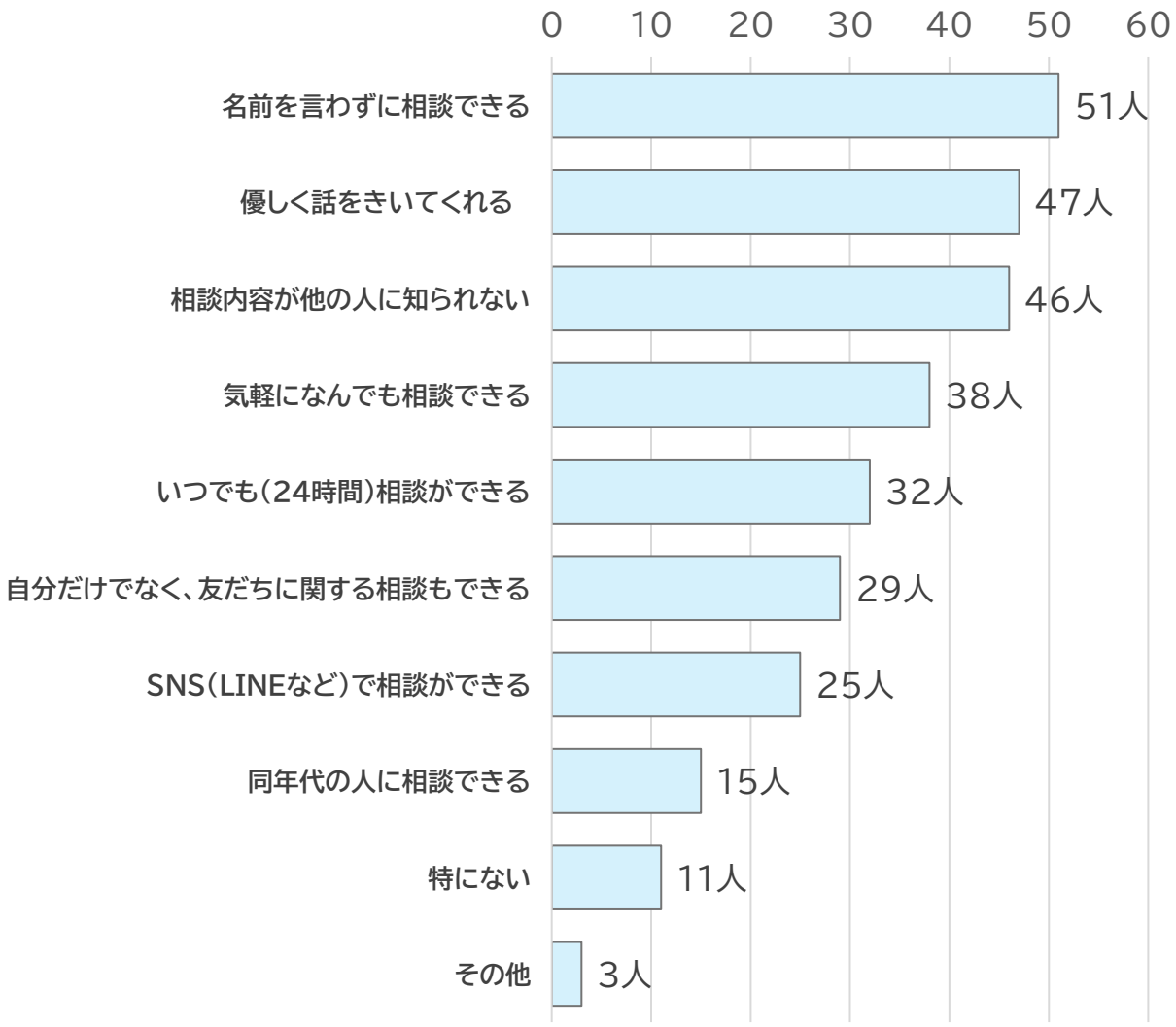


「相談していいかわからないから」、
「他人に悩みを知られたくないから」、
「他人に悩みを話すことが恥ずかしいから」という意見がありました。

問16

どんな相談窓口なら、相談しやすいですか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）

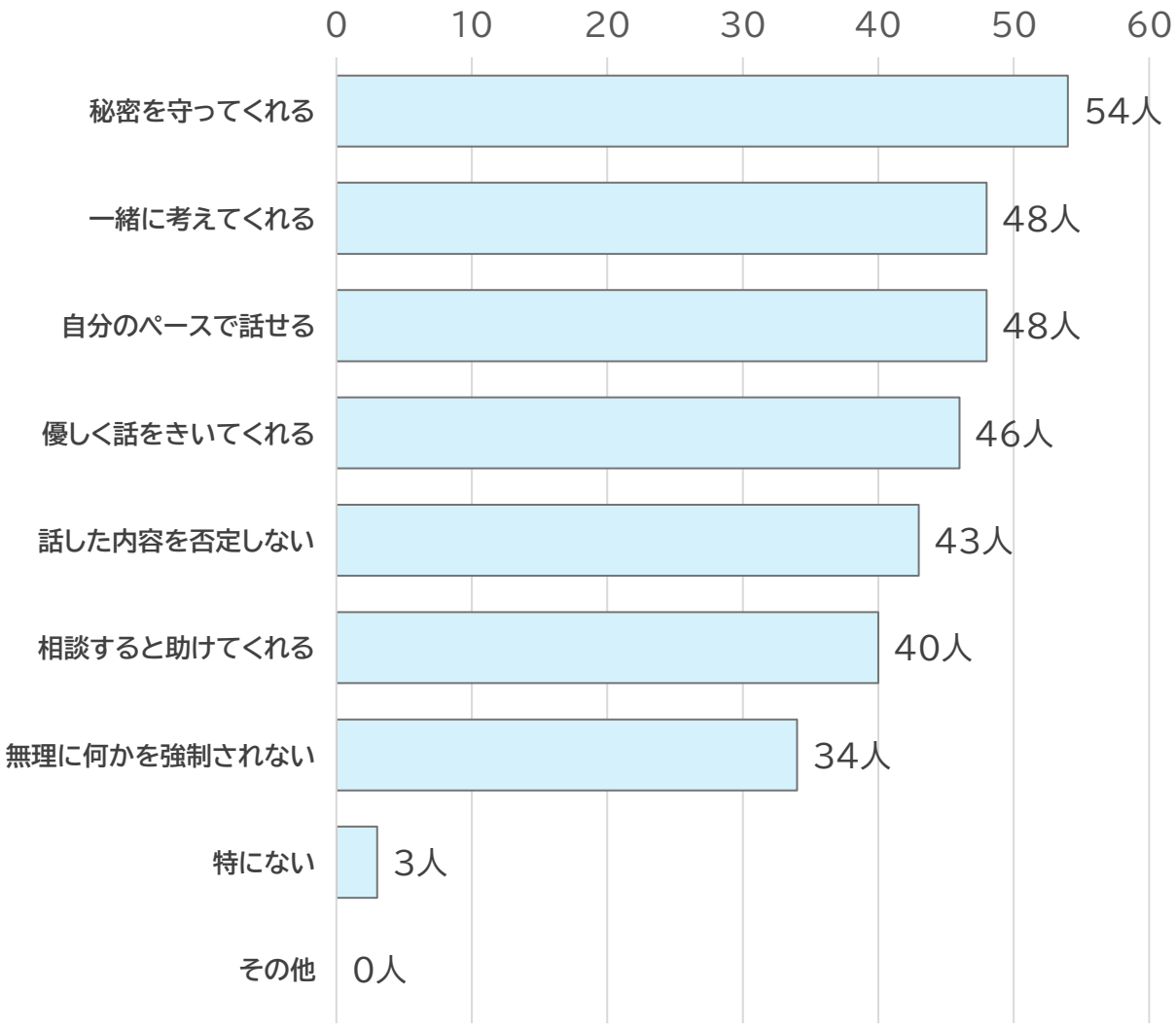


一番多かったのは「名前を言わずに相談できる」で51人でした。
二番目に多かったのは「優しく話をきいてくれる」で47人でした。
その他の意見の中には「自分の話を受け止めてくれる」、「AI」、
「話を聞くだけでとどめてくれる」などがありました。

問 17

相談したとき、どんな対応なら安心できますか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　74人）



一番多かったのは「秘密を守ってくれる」で54人でした。
二番目に多かったのは「一緒に考えてくれる」、
「自分のペースで話せる」で48人でした。

4. まとめ

合計1問



問 18

今回のアンケートを通じ、
「子どもの権利」について思ったことなどがあれば
自由に書いてください。

（回答人数　43人）

【勉強になった】
・今まで子どもの権利について、
こんなにじっくり考えたことはなかったから考えられて良かった。
・これを機にいろいろ調べてみようと思った。
・今特に相談したいことはないが、
こうやって守ってくれるところがあるのは良いと思った。

【もっと広報すべき】
・いくら子どもたちが、自分たちがもつ権利について知識を蓄えても、
それを親や大人たちが知らなかったり、
守る意思がなければ意味がないのではないかと思った。
・子ども条例をもっと多くの人に広めていきたいと思った。

【その他】
・現代はAIが良き相談相手。問11の選択肢にAIが入っても良いと思った。
・ヤングケアラーや片親の子どもが増えていると感じている。
身近な友達の様子から、安心で健やかに成長できる環境を大人だけでなく、
友人たちでも作ることが大切だと思った。
・小さい子は守られている感じがするが、
中高生は誰に頼ったらいいのか分からない。
・本当のことを言えない子どももいるということを忘れずに、
みんなに寄り添ってほしい。

お問い合わせ：　目黒区子ども若者課　子ども若者施策推進係
TEL　03-5722-8723